

# 記入例

# 入学願書記入例（様式Aの1）＜中期選抜＞

様式Aの1

平成 29 年度選抜

※受付番号	
※受付 学校名	

\* { 中期選抜  
後期選抜 }

## 入 学 願 書

\* 該当する選抜（「中期選抜」・「後期選抜」）に○印を付けてください。

住所は、郡・市から書き出すこと。

転居予定の者も、出願時の住所を記入すること。

字体は、住民基本台帳等のおりを基本として、楷書で正確に。

在学（出身） 中学校名	〇〇市立△△中学校
志願者住所	（〒602-8570） 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地
ふりがな	きょうと いちろう
志願者氏名	京都 一郎 平成13年12月1日生（性別）男

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

平成 29 年 2 月 × 日

京都 府 立 **A** 高等学校長 様

（〒 - ）

保護者住所 志願者に同じ  
ふりがな きょうと たろう

保護者氏名 京都 太郎 印

志願者との関係 父

（電 話） 075-414-5848

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合については、保護者印を押印してください。

第1志望第1順位に希望する高等学校名を記入すること。

### 記

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">日制</span> ・定時制		全 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">日制</span> ・定時制
	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>（分校志願者は分校名まで記入してください。）</small>	A	B	C
	学 科 名	普通	総合学科	普通
望	〔 系 統 等 名 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕

保護者の住所の 存する地域
京 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">都市</span> ・乙訓
山城
口丹
中丹
丹後
全 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">日制</span> 普通科を志望する場合は、上欄の地域を○印で囲んでください。

- 注 1 志願する課程を○印で囲んでください。
- 2 全日制課程と定時制課程を併願することはできません。
- 3 定時制課程を志願する場合は、第2順位を斜線で抹消してください。
- 4 後期選抜では、第2順位を斜線で抹消してください。

注 特別事情具申を行い、許可・確認を受けた者は、その許可・確認を受けた住所により記入してください。

（他の都道府県からの入学志願者又は出願時に成年に達した入学志願者は、下欄に連絡先等を記入してください。）

連 絡 先 （〒 - ）	（ ） 方） 電話
在学（出身）中学校住所 （〒 - ）	電話

## 志望先記入例（様式Aの1）

### 例1 選抜要項別表6の1（55ページ）に該当する高等学校を第1志望第1順位に記入した場合

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全日制定時制		全日制定時制
	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>（分校志願者は分校名まで記入してください。）</small>	D	D	D
望	学 科 名	情報科学	企画	会計
	〔 系統等名 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕

#### <例1で記入した志望の扱い>

- ① D高校情報科学科を第1志望第1順位とする希望者の中から中期選抜募集人員の90パーセント以内の合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合、
  - ア 他校の第1志望第1順位で合格とならなかった者で、D高校情報科学科を第1志望第2順位で希望する者を合わせて、D高校情報科学科の募集人員までの合格者を決定する。
  - イ D高校企画科を第1志望第1順位とする希望者の中で合格とならなかった者と、D高校企画科以外を第1志望第1順位とし合格とならなかった者で、D高校企画科を第1志望第2順位とする者をあわせて、D高校企画科の募集人員までの合格者を決定する。
  - ウ ア及びイでD高校情報科学科及びD高校企画科とも合格範囲内となった場合は、第1志望第1順位のD高校情報科学科で合格となる。
- ③ ②において合格とならなかった場合  
D高校会計科に欠員があれば、D高校会計科を第2志望とする希望者の中から合格者を決定する。

### 例2 選抜要項別表6の1（55ページ）に該当する高等学校を第1志望第1順位に記入した場合

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全日制定時制		全日制定時制
	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>（分校志願者は分校名まで記入してください。）</small>	E	A	B
望	学 科 名	プロジェクト工学	普通	総合学科
	〔 系統等名 〕	〔 ものづくり分野 〕	〔 〕	〔 〕

#### <例2で記入した志望の扱い>

- ① E高校プロジェクト工学科ものづくり分野系統を第1志望第1順位とする希望者の中から中期選抜募集人員の90パーセント以内の合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合、
  - ア 他校の第1志望第1順位で合格とならなかった者で、E高校プロジェクト工学科ものづくり分野系統を第1志望第2順位で希望する者を合わせて、E高校プロジェクト工学科ものづくり分野系統の募集人員までの合格者を決定する。
  - イ A高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中で合格とならなかった者と、A高校普通科以外を第1志望第1順位とし合格とならなかった者で、A高校普通科を第1志望第2順位とする者をあわせて、A高校普通科の募集人員までの合格者を決定する。
  - ウ ア及びイでE高校プロジェクト工学科ものづくり分野系統及びA高校普通科とも合格範囲内となった場合は、第1志望第1順位のE高校プロジェクト工学科ものづくり分野系統で合格となる。
- ③ ②において合格とならなかった場合  
B高校総合学科に欠員があれば、B高校総合学科を第2志望とする者の中から合格者を決定する。

例3 選抜要項別表6の2（55ページ）に該当する高等学校を第1志望第1順位に記入した場合

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全日制定時制		全日制定時制
望	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>〔分校志願者は分校名まで記入してください。〕</small>	F	G	
	学 科 名 <small>〔系統等名〕</small>	普通	普通	
				〔 〕

第2志望まで記入できる。  
第2志望がない場合は、斜線で抹消すること。

＜例3で記入した志望の扱い＞

- ① F高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中から中期選抜募集人員の85パーセント以内の合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合、
  - ア 他校の第1志望第1順位で合格とならなかった者で、F高校普通科を第1志望第2順位で希望する者を合わせて、F高校普通科の募集人員までの合格者を決定する。
  - イ G高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中で合格とならなかった者と、G高校普通科以外を第1志望第1順位とし合格とならなかった者で、G高校普通科を第1志望第2順位とする者をあわせて、G高校普通科の募集人員までの合格者を決定する。
  - ウ ア及びイでF高校普通科及びG高校普通科とも合格範囲内となった場合は、第1志望第1順位のF高校普通科で合格となる。

例4 選抜要項別表6の2（55ページ）に該当する高等学校を第1志望第1順位に記入した場合

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全日制定時制		全日制定時制
望	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>〔分校志願者は分校名まで記入してください。〕</small>	G (g)	G	H
	学 科 名 <small>〔系統等名〕</small>	農業	普通	普通
				〔 〕

＜例4で記入した志望の扱い＞

- ① G高校g分校農業科を第1志望第1順位とする希望者の中から中期選抜募集人員の85パーセント以内の合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合、
  - ア 他校の第1志望第1順位で合格とならなかった者で、G高校g分校農業科を第1志望第2順位で希望する者を合わせて、G高校g分校農業科の募集人員までの合格者を決定する。
  - イ G高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中で合格とならなかった者と、G高校普通科以外を第1志望第1順位とし合格とならなかった者で、G高校普通科を第1志望第2順位とする者をあわせて、G高校普通科の募集人員までの合格者を決定する。
  - ウ ア及びイでG高校g分校農業科及びG高校普通科とも合格範囲内となった場合は、第1志望第1順位のG高校g分校農業科で合格となる。
- ③ ②において合格とならなかった場合  
H高校普通科に欠員があれば、H高校普通科を第2志望とする者の中から合格者を決定する。

例5 選抜要項別表6の2 (55ページ) に該当する高等学校を第1志望第1順位に記入した場合

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全日制定時制		全日制定時制
	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>(分校志願者は分校名まで記入してください。)</small>	I	I	J
望	学 科 名	普通	産業工学	普通
	〔 系 統 等 名 〕	〔 〕	〔 機 械 〕	〔 〕

＜例5で記入した志望の扱い＞

- ① I 高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中から中期選抜募集人員の85パーセント以内の合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合、
  - ア 他校の第1志望第1順位で合格とならなかった者で、I 高校普通科を第1志望第2順位で希望する者を合わせて、I 高校普通科の募集人員までの合格者を決定する。
  - イ I 高校産業工学科機械系統を第1志望第1順位とする希望者の中で合格とならなかった者と、I 高校産業工学科機械系統以外を第1志望第1順位とし合格とならなかった者で、I 高校産業工学科機械系統を第1志望第2順位とする者をあわせて、I 高校産業工学科機械系統の募集人員までの合格者を決定する。
  - ウ ア及びイでI 高校普通科及びI 高校産業工学科機械系統とも合格範囲内となった場合は、第1志望第1順位のI 高校普通科で合格となる。
- ③ ②において合格とならなかった場合
  - J 高校普通科に欠員があれば、J 高校普通科を第2志望とする者の中から合格者を決定する。

例6 定時制を志望する場合

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課 程 名	全日制定時制		全日制定時制
	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 校 名 <small>(分校志願者は分校名まで記入してください。)</small>	A		B
望	学 科 名	普通		普通
	〔 系 統 等 名 〕	〔 〕		〔 〕

定時制を志望する場合は、第2順位を記入できないので、斜線で抹消すること。

＜例6で記入した志望の扱い＞

- ① A 高校普通科第1志望とする者の中から合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合
  - B 高校普通科に欠員があれば、B 高校普通科を第2志望とする者の中から合格者を決定する。

# 入学願書記入例（様式前一1）＜前期選抜＞

様式前一1

平成 29 年度選抜

※受付番号	
-------	--

## 前期選抜入学願書

住所は、郡・市から書き出すこと。

転居予定の者も、出願時の住所を記入すること。

字体は、住民基本台帳等のおりを基本として、楷書で正確に。

在学（出身） 中学校名	〇〇市立△△中学校
志願者住所	(〒602-8570 ) 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地
ふりがな	きょうと いちろう
志願者氏名	京都 一郎 平成 13 年 12 月 1 日生（性別）男

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都<sup>府</sup>立 A 高等学校長 様

平成 29 年 2 月 ×日

(〒 - )

保護者住所 志願者に同じ  
ふりがな きょうと たろう

保護者氏名 京都 太郎 印

志願者との関係 父

(電 話) 075-414-5848

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合については、保護者印を押印してください。

志願先高等学校名を記入すること。

### 記

課程名	学校名 (分校志願者は分校名まで記入してください。)	学科 [系統等] 名	選抜方式(型)名
全日 制	A	普通 [ ]	A 方式 2 型

(他の都道府県からの入学志願者又は出願時に成年に達した入学志願者は、下欄に連絡先等を記入してください。)

連 絡 先 (〒 - )	( ) 方) 電話
在学（出身）中学校住所 (〒 - )	電話

# 報告書（様式Cの1）記入例

様式Cの1

平成29年度選抜

## 報告書

前期・ <b>中期</b> ・後期・特別		※受付番号										
		※受付学校名										
学歴	平成 29 年 3 月 31 日			ふりがな	きょうと よしこ	性別						
	〇〇市立△△ 中学校 卒業			氏名	京都 良子	女						
		卒業見込み										
		平成 13 年 12 月 30 日生										
学習の記録	必修教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語	※	
	1年	評定	5	5	5	5	4	4	3	5	5	
	2年	評定	3	2	3	4	5	4	3	2	3	
	3年	評定	3	4	5	4	3	4	3	5	5	
		観 点 別 学 習 状 況	I	指導要録に記載された観点ごとにA・B・Cの記号を記入すること。								
			II									
			III	「学習活動」及び「評価の観点」を踏まえ、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して、具体的に文章で記入すること。								
IV												
V												
総合的な学習の時間						総合所見						
						生徒会役員としてその運営に積極的に取り組んだ。						
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考								
	1年	209	20	体育授業中骨折し、入院								
	2年	210	5									
	3年	182	8									
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。												
校長証明												
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。												
学 校 名 〇〇市立△△中学校						平成 29 年 2 月 × 日						
校 長 氏 名 平安 三郎						(電話) 123-456-7890						
校 長 印 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">校△○ 長△○ 之中市 印学立</span>						記録担当者氏名 山田 太郎						

- 注1 選抜要項5、6により記入する場合は、平成28年12月31日現在の記録を記入してください。
- 注2 選抜要項7、8により記入する場合は、平成29年2月10日現在の記録を記入してください。
- 注3 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
- 注4 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として箇条書きで記入してください。

## 報告書（様式Cの1）「学習の記録」欄の記入について

「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。

- 1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。
- 2 右側の（ ）書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。

### 報告書（様式Cの1）の抜粋

		必修教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語		
		1年	評定	2(3)	3(4)	2(3)	3(4)	3(4)	2(2)	4(5)	2(4)	1(2)		
		2年	評定	3(4)	3(4)	2(3)	4(5)	3(4)	2(2)	4(5)	3(3)	1(2)		
学習の記録		3年	評定	3(3)	2(4)	2(4)	3(5)	3(4)	2(2)	4(5)	2(4)	1(2)		
			観点別 学習 状況	I										
				II			指導要録に記載された観点ごとに A・B・Cの記号を記入すること							
				III										
				IV										
V														



# 報告書（様式Cの2）の記入について

第3学年については、平成28年12月31日現在の状況を記載

指導要録から転記

出席扱いとした日数を記入すること。

欠席扱いとした日数を記入すること。

## 1 生徒の出欠状況

	授業日数	出席日数 <small>（内、教育支援センター等の学校外施設（以下、「学校外施設」という。）への通所等の日数）</small>	欠席日数 <small>（内、学校外施設への通所等の日数）</small>
第1学年	日	日（ 日）	日（ 日）
第2学年	日	日（ 日）	日（ 日）
第3学年	日	日（ 日）	日（ 日）

※ いわゆる「別室登校」で学校に登校している場合は、出席日数に含む。

## 2 欠席等で学校へ登校しなかった連続日数

	連続日数	<small>内、学校外施設への通所等の日数（出席扱い含む。）</small>
第1学年	土日祝や長期休業等は含まない。下記参照。	
第2学年	土日祝や長期休業等は含まない。下記参照。	
第3学年	土日祝や長期休業等は含まない。下記参照。	

※ 各学年で連続した日数が、最も多い日数を記入すること。

## 3 長期欠席の理由

志願者が長期にわたり欠席を余儀なくされたことに至った理由を具体的に記入すること。  
例）志願者の状況の変化、現状、授業時の様子など

## 4 生徒の状況

### (1) 欠席中の状況

欠席中の志願者の生活及び行動、志願者に対する中学校の指導について、具体的に記述する。

### (2) 第3学年時の登校時の状況（該当する記号（ア～エ）に○印を付し、必要事項を記載すること。）

ア	ほぼ教室に入れる。
イ	教室に入れないことがある。（出席日数の 割程度）（別室名）
ウ	遅れて登校することが多い。（出席日数の 割程度）
エ	早く帰ることが多い。（出席日数の 割程度）

※ 複数の記号に該当する場合、該当事項すべてに記入すること。

## 5 その他特記事項

生徒の健康状況等の他、「高校で学ぶ能力や意欲」について、特筆すべき点があれば記入すること。

### <連続日数の例>

	月	火	水	木	金	土	日
1週目	出席	欠	欠	欠	欠		
2週目	欠	欠	祝	欠	出席		

上記の場合、連続欠席日数は、7日となる。

（土日で区切って4日、或いは土日祝を含めて10日とならないこと。）

# 報告書（様式Cの3）の記入について 1

様式Cの3(表)

平成29年度選抜

## 報告書

(京都府立清明高等学校特別入学者選抜用)

京都府立清明高等学校長 様

※受付番号	
-------	--

学歴	平成 29 年 3 月 31 日					ふりがな	きょうと よしこ					性別					
	〇〇市立△△ 中学校					氏名	京都 良子					女					
	卒業						平成 13 年 12 月 30 日生										
学習の記録	必修教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語	※						
	1年	評定															
	2年	評定															
	3年	評定															
		観 点 別 学 習 状 況	I														
		II															
		III															
		IV															
	V																
	総合的な学習の時間						総合所見										
指導要録から転記 すること。						出席扱いとした日数を内 数で記入すること。						欠席扱いとした日数を 内数で記入すること。					
出欠の記録	学年	授業日数	出席日数	欠席日数	備考												
	1年	日	日( 日)	日( 日)													
	2年	日	日( 日)	日( 日)													
	3年	日	日( 日)	日( 日)													
	<p>注1 出席日数の( )内に、教育支援センター等の学校外施設(以下、「学校外施設」という。)への通所等の日数を内数で記入すること。</p> <p>2 欠席日数の( )内に、学校外施設への通所等の日数を内数で記入すること。</p> <p>3 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。</p> <p>4 いわゆる「別室登校」で学校に登校している場合は、出席日数に含む。</p> <p>5 平成23年3月以前の卒業者については、この欄の記入は要しない。</p>																

# 報告書（様式Cの3）の記入について 2

様式Cの3(裏)

平成29年度選抜

※受付番号	
-------	--

生徒の状況	<p style="text-align: center;">求める生徒像に照らした学校生活における普通の生徒の様子や状況など、全般的なことについて記入すること。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 志願者が意欲をもって取り組んでいること（学校内外の活動を問わない）</li> <li>・ 志願者が今後意欲をもって取り組もうとしていること（学校内外の活動を問わない）</li> <li>・ 志願者の日常生活について（学校内外を問わず、生活の状況全般）</li> </ul>
その他の特記事項	<p style="text-align: center;">生徒の健康状況等の他、「高校で学ぶ能力や意欲」について、特記すべき事項などがあれば記入すること。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 志願者の登校時の様子（保健室や別室登校がある場合その状況）</li> <li>・ 志願者に対して配慮を要する事項（具体的なサポートの内容や保護者との連携状況）</li> <li>・ 志願者の高校で学ぶにあたっての特筆すべき能力や意欲</li> </ul>

校 長 証 明			
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。			
		平成 29 年 2 月 × 日	
学 校 名	〇〇市立△△中学校	(電話)	123-456-7890
校 長 氏 名	平安 三郎	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">校△○ 長△○ 之中市 印学立</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;">印</div>	記録担当者氏名
			山田 太郎

- 注1 平成28年12月31日現在の記録を記入してください。
- 2 「学習の記録」欄は、選抜要項4(5)エに準じて記入してください。
- 3 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
- 4 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として箇条書きで記入してください。ただし、平成23年3月以前の卒業者については、「総合所見」欄の記入は必要ありません。
- 5 「生徒の状況」欄は、求める生徒像に照らした学校生活における普通の生徒の様子や状況など、全般的なことについて記入してください。
- 6 「その他の特記事項」欄は、生徒の健康状況等の他、「高校で学ぶ能力や意欲」について、特記すべき事項などがあれば記入してください。

# 特別事情具申記入例 1

第2号様式 (の2)

平成 29 年 1 月 × 日

京都府教育委員会教育長  
京都市教育長 様

保護者氏名 京 一郎 ㊟  
 志願者氏名 京 のぞみ  
 志願者と保護者との関係 父  
 在学(出身)中学校名 宇治市立△△中学校

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。  
 その他の場合については、保護者印を押印してください。

### 高等学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立高等学校 に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。  
京都市立高等学校

1 届出の理由 該当個所に「レ」を記入する。 記

- (1)  転居 (  府内の転居、 他の都道府県から府内への転居、 外国から府内への転居 )  
 (2)  保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

説明 (転居する者、転居日など詳しく記入してください。)

**現在、京都市内に家屋を新築中で3月下旬に完成の見込みです。  
 なお、完成後、春休み期間中に一家で転住する予定です。**

いつ、どこに、誰と、転居するのかを記入する。

2 届け出る住所 (1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地)

保護者：京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

志願者：保護者に同じ

3 現住所等 (1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所)

保護者：宇治市△△町××番地

電話 0774 (××) ××××

志願者：保護者に同じ

4 志望高等学校等 ((1)又は(2)の該当箇所に記入してください。)

(1) 中期選抜

	第1志望		第2志望
	第1順位	第2順位	
学校名	A	B	C
学科名	普通	普通	普通
系統等名			

(2) 上記(1)以外

区分	高等学校名	学科等
前期選抜	A	普通

願書への記入方法に従い、記入すること。

### 証明書

上記の事情に相違ないことを証明します。

上記の事情に相違なく、( ) 都道府県 公立高等学校に入学を志願しないことを証明します。

平成 29 年 1 月 × 日

宇治市立△△中学校

在学(出身)中学校長氏名 校長 宇治川 涉 印

在学(出身)中学校所在地 宇治市△△町□□番地

電話 0774 (00) 0000

# 特別事情具申記入例 2

第2号様式 (の2)

平成29年1月×日

京都府教育委員会教育長  
京都市教育長 様

前期選抜のみを  
志願する例

保護者氏名 奈良 一郎 (印)  
 志願者氏名 奈良 学  
 志願者と保護者との関係 父  
 在学(出身)中学校名 奈良市立△△中学校

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。  
 その他の場合については、保護者印を押印してください。

### 高等学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立高等学校 京都市立高等学校 に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。

該当個所に「し」を記入する。 記

1 届出の理由

- (1)  転居 (  府内の転居、  他の都道府県から府内への転居、  外国から府内への転居 )
- (2)  保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

説明 (転居する者、転居日など詳しく記入してください。)  
**現在、奈良市内に居住していますが、父親の転勤に伴い、3月下旬に亀岡市内の賃貸物件に一家で転居する予定です。**

2 届け出る住所 (1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地)

保護者: 亀岡市△△町××番地  
 志願者: 保護者に同じ

3 現住所等 (1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所)

保護者: 奈良市△△町××番地 電話 0742 (××) ××××  
 志願者: 保護者に同じ

4 志望高等学校等 ((1)又は(2)の該当箇所に記入してください。)

(1) 中期選抜

	第1志望		第2志望
	第1順位	第2順位	
学校名	該当する選抜方法等の区分(前期選抜、海外勤務者帰国子女特別入学者選抜、中国帰国孤児子女特別入学者選抜、長期欠席者特別入学者選抜)を記入すること。		( )
学科名			
系統等名			

(2) 上記(1)以外

区 分	高等学校名	学科等
<b>前期選抜</b>	<b>A</b>	<b>普通科</b>

### 証 明 書

上記の事情に相違ないことを証明します。

上記の事情に相違なく、( 奈良 )都道府県 公立高等学校に入学を志願しないことを証明します。

平成29年 1月×日

**奈良市立△△中学校**  
**校長 平城 歩** (印)

他府県から府内への転居の場合  
 は、下段の□にしを記入し、( )  
 の中に保護者が現在居住している  
 都道府県を記入すること。

在学(出身)中学校長氏名 \_\_\_\_\_  
 在学(出身)中学校所在地 奈良市△△町□□番地  
 電話 0742 (〇〇) 〇〇〇〇

